

# 県身協だより

発行者

一般財団法人 青森県身体障害者福祉協会  
〒030-0122 青森市大字野尻字今田52-4  
TEL:017-738-5059 FAX:017-738-0745  
E-mail:aoshinsyou@nemunoki.jp

第12号

平成31年1月1日発行

## 新年のごあいさつ

青森県身体障害者福祉協会

会長 山田 金治



新年あけましておめでとうございます。

皆様には良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、障害のある人もない人も、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる

共生社会の実現に向けて、国が取り組んでいる「ユニバーサルデザイン2020行動計画」には、物理的障壁や情報にかかる障壁を取り除く「ユニバーサルデザインの街づくり」のほかに、人ととの間に生まれる障壁を取り除く「心のバリアフリー」があります。この「心のバリアフリー」を進めるに当たっ

ては、障害の有無や年齢、性別、国籍等、自分とは異なる条件を持つ人々の多様性を尊重し、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとることが大切です。

また、心のバリアフリーを全国に根付かせるためには、まずはそれぞれ各地域における障害者団体の活動が重要だと考えております。

県身協は、地域での活動を着実に行うとともに、市町村や関係団体と協力し、共生社会の実現に向けて、猪突猛進する勢いで参りたいと存じます。

終わりになりますが、会員皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ新年の挨拶いたします。

## 第44回青森県身体障害者福祉大会・弘前大会を開催

平成30年11月11日、弘前市岩木文化センターあそべーるにおいて、第44回青森県身体障害者福祉大会・弘前大会を開催しました。県内各地より250名余りの参加がありました。

まず、開催に先立ち、笑鬼(しょうき)、騒心會(じゃわめぎかい)による囃子演奏、清友会による津軽三味線演奏が披露され、会場から大きな拍手が湧き上がっていました。

式典では、長年にわたり障害福祉に貢献された方々、昨年度、愛媛県で行われた全国障害者スポーツ大会において優秀な成績を残された方々へ知事表彰、会長表彰が授与されました。

その後、大会宣言と大会決議が提案され、満場一致で承認されました。



ご多忙中にも関わらず多くの方にご参加していただき、おかげさまで大成功のうちに大会を終了することができました。

来年度は、三沢市での開催となります。多くの方々のご参加をお待ちしております。

### 要望事項

- 1 社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「障害の社会モデル」の普及について
- 2 障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり(条例)について
- 3 地域における身体障害者福祉活動の活性化に向けての強力な支援について
- 4 身体障害者相談員の配置について
- 5 青森県身体障害者福祉センターねむのき会館の改築及びねむのき会館事業の充実について

## 県知事要望について

平成30年12月20日、青森県庁を訪問し、山田会長から健康福祉部の菊地公英部長へ、青森県身体障害者福祉大会・弘前大会において決議された5項目の要望事項を提出し協力を要請しました。

以下、菊地部長から回答をいただきました。

### [要望事項に対する回答]

1 平成18年12月に国連で採択された「障害者権利条約」では、「障害に基づく差別の禁止」と「合理的配慮の提供」が規定されるとともに、障害者が住みにくい環境は社会が作り出しているという「社会モデル」と呼ばれる考え方が反映されています。

障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会を実現するため、今後も「障害者差別解消法」の取組や「ヘルプマーク・ヘルプカード」の普及啓発に取り組むこととしており、そのような取組により「社会モデル」の考え方方が広く県民に普及していくと考えています。

2 平成25年3月に策定した「第3次青森県障害者計画」において、「だれもが、どこでも、自立し、安心して暮らせる共生社会」を目指して、各種施策の推進に取り組んでいます。

また、平成28年4月1日に施行された「障害者差別解消法」の取組として、県では、職員対応要領の制定や、差別解消相談窓口の整備、障害者差別解消支援地域協議会の設置、県民への普及啓発を行い、障害を理由とする差別の解消が着実に進むよう、取り組んでいます。

今後も「障害者差別解消法」の円滑な施行に努め、障害者に対する差別のない社会づくりを進めていくとともに、共生社会づくりの実現に向け障害者施策の推進に取り組んでいきます。

3 市町村身体障害者福祉社会の活性化については、引き続き、各団体が考える活性化の方策に対し、県ができる支援について相談していただきたいと考えております。

4 県としては、身体障害者相談員の地域における役割の必要性を十分認識しており、今後も機会を見て、市町村に対し配置の検討を求めていきます。

5 ねむのき会館については、建物全体の老朽化が進んでいることから、施設の改修等を含めた今後の方向性を整理するために、現在、建物の劣化度調査・改修等基本計画書作成業務を設計会社へ委託しているところであり、来年度には、委託結果を踏まえ、今後の施設の改修等の方向性について整理することとしております。

劣化度調査の実施については、職員の皆様の御協力をいただきありがとうございます。

また、ねむのき会館事業の充実については、引き続き、障害者に対して効果的に事業を実施するためのあり方について検討していきたいと考えております。



## 平成30年度北海道胆振東部地震災害かかる支援金のご協力について

平成30年9月6日に北海道胆振東部地方中東で発生した地震により、北海道に甚大な被害が発生していることから、被災地支援として支援金を募ることといたしました。

一日も早い被災地への支援にむけ、加盟団体の皆さまからの温かいご協力を頂ければ幸いです。

つきましては、支援いただける団体は、次の方法で送金をお願いします。

なお、皆さまからの支援金は、日本身体障害者団体連合会を経由して被災地へ支援することとなります。

### 送金方法

#### ①ゆうちょ銀行

口座名義 一般財団法人青森県身体障害者福祉協会  
振替口座 02200-8-40857

※通信欄には「支援金」と記載してください。

#### ②現金書留

郵送先 〒030-0122

青森市野尻字今田52-4 ねむのき会館内  
一般財団法人青森県身体障害者福祉協会

## 第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」



第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」が、「織りなそう 力と技と美しさ」のスローガンのもと、平成30年10月13日～15日の3日間、9.98スタジアム（福井県営陸上競技場）を中心を開催されました。

青森県選手団は、個人競技に選手25名、団体競技に選手11名、役員30名、計66名が参加しました。

10月11日、青森空港にて結団式を行い、青森県知事から山田金治団長に団旗が授与され、激励の言葉、団長謝辞、選手代表決意表明の後、福井県へと向かいました。

10月13日に行われた開会式では、山田団長と旗手の今聖太選手を先頭に35名が入場行進をしました。午後から各会場にわかれ3日間の競技が始まりました。

大会期間は天候に恵まれ、選手の皆さんは全力で競技に挑み、金2個、銀12個、銅4個の合計18個のメダルを獲得しました。

各会場では、他県の選手団、ボランティア、地元福井県の皆さんとも交流を深め思い出に残る大会となりました。

大会参加にあたってはご協力いただきました各関係団体、ボランティアの皆様をはじめ、ご支援いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

なお、次回の全国障害者スポーツ大会は平成31年10月12日～14日に茨城県内で開催される予定です。



三戸町 工藤選手



鶴田町 山田選手



東北町 洞内選手

## 第6回ねむのき杯ボッチャ大会を開催

平成30年度身体障害者スポーツ振興基金運営事業として、平成30年9月29日、ねむのき会館体育館を会場に第6回ねむのき杯ボッチャ大会を開催しました。

県身協加盟団体会員を中心に過去最多の15チーム45名がご参加くださいました。試合は、3対3のチーム戦を予選リーグ・決勝トーナメント方式で行いました。

今年で6回目となるこの大会は、初出場のチームも健闘し会場が熱気に包まれました。



鶴田町身障福祉会チーム  
(山田・神・佐々木)

今大会の優勝は、初出場の鶴田町身障福祉会チームでした。準優勝は七戸町身障福祉会チーム、第3位は平川市身障福祉会の平賀Bチームでした。

リオパラリンピック

のボッチャ競技で日本代表が銀メダルを獲得し、一気に普及が加速したボッチャですが、平成32年度から県障害者スポーツ大会で、平成33年度から全国障害者スポーツ大会で正式競技に導入されます。また、年齢問わず、経験問わざどなたでも楽しめる競技です。次回のボッチャ大会にも、たくさんのご参加をお待ちしております。

また、県身協では加盟団体様よりご要望があれば、出前ボッチャ教室を開催いたします。平成31年度にボッチャ教室をご希望の団体様は、県身協事務局までお知らせください。



## 県遊技業協同組合様から寄付金の贈呈

青森県遊技業協同組合（以下、県遊協）様より2020年開催の東京パラリンピック出場選手の支援に役立てもらいたいと寄付の申し出があり、平成30年6月に続いて同年11月9日（金）に県遊協事務所において寄付金の贈呈式が行われました。

この寄付は、県遊協加盟店に上記支援を目的とした募金箱を設置し、集まった全額を贈呈されたもので、ご寄付に対しまして厚く御礼申し上げます。

いただいた寄付金につきましては、ご寄付の趣旨に沿って有効に活用させていただきます。なお、県遊協様では募金箱を2020年6月まで設置し、東京パラリンピック出場選手の支援を継続していくというお話をいただきました。

寄付者名 青森県遊技業協同組合

理事長 若林 浩司様

寄付額 341,449円



松木専務理事⑤と蝦名事務局長⑥

## 日本身体障害者福祉大会 参加の旅(秋田)へのご案内

第64回日本身体障害者福祉大会が、平成31年5月22日(水)、23日(木)の日程で秋田県秋田市において開催されます。

県身協では、1泊2日の日程で「大会参加の旅」を企画しました。

旅行日程詳細や申込書は、1月下旬に各市町村身体障害者福祉会長宛てに送付いたします。隣県での開催ですので、皆様のご参加をお待ちしております。

【旅行期日】 平成31年5月22日(水)～23日(木)

【旅行代金】 お一人様25,000円(予定)

※大会参加費含む

【募集人数】 60名

【申込方法】 平成31年3月29日(金)までに県身協事務局へ申込書にてお申し込みください。

|         |  |
|---------|--|
| 5/22(水) | 青森駅→道の駅アップルヒル→弘前駅<br>イオン十和田→八戸駅<br>→男鹿真山伝承館→なまはげ館→男鹿水族館GAO→入道崎→男鹿温泉(泊)                           |
| 5/23(木) | 大会参加(午前)→秋田まるごと市場→あきた文化産業施設「松下」(あきた舞妓鑑賞)<br>弘前駅→道の駅アップルヒル→青森駅<br>八戸駅→イオン十和田<br>※日程は変更になる場合もあります。 |

※日程は変更になる場合もあります。

## 厚生労働大臣表彰おめでとうございます

【自立更生者】

川端 稔 氏

(むつ市身体障害者  
福祉協会)



設備会社を49年経営し家族を支えてきました。

昭和62年よりむつ市身体障害者福祉協会に入会し、理事を3年、副会長を12年、会長を16年、合わせて31年にわたり役員として福祉協会の運営や会員の増強に尽力し、地域福祉会の発展に寄与しました。

また、青森県身体障害者福祉協会の理事として12年間、副会長を6年間、身体障害者相談員を永年にわたって務め、障害者の社会参加促進などに取り組んできました。

## ねむのき冬祭りのお知らせ

障害者及び地域住民の交流、また冬場の運動不足解消を目的として、毎年恒例のねむのき冬祭りを開催します。

|     |  |
|-----|--|
| 日 時 | 平成31年2月23日(土) 10:30～14:30              |
| 場 所 | 青森県身体障害者福祉センター<br>ねむのき会館「体育館」ほか        |
| 内 容 | ゲーム、レクリエーション、よさこい<br>(出演:チームこぶし・舞鼓童)など |

※参加費、昼食(カレーライス)無料

お問い合わせ、参加ご希望の方は、ねむのき会館事務局(017-738-5033)までご連絡ください。

申込書での  
参加受付とな  
ります。

当日は、上  
履きをご準備  
ください。

